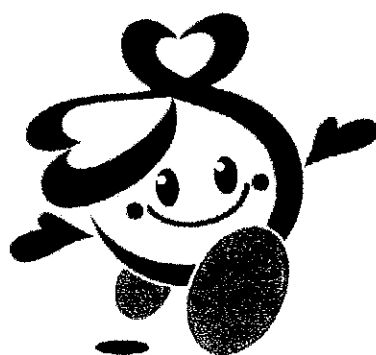


令和3年度
(2021年度)

事業計画



社会福祉法人 大野城市社会福祉協議会

大野城市社会福祉協議会の理念と目標

理 念

私たちのまち、大野城と市民（人）を愛する

この理念を基本として次の目標を掲げます。

目 標

地域は、福祉情報の宝庫であり、
その中からニーズや課題を的確に把握し、
地域住民と共にその課題の解決に向けた取り組みを行い、
住み慣れた地域で
「安心して安全に暮らせるまちづくり」を目指します。

令和3(2021)年度事業計画

★基本方針★

昨今、国を中心として、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けること」ができる多様性と包摂性（インクルシブ）のある社会づくりを目指し、様々な法の整備を行っています。まず、高齢者に関しては、介護保険制度の改正とともに、在宅生活を支える地域包括ケアシステム構築のため「生活支援体制整備事業」により、協議体の設置、生活支援コーディネーターの設置、社会資源開発などを進められています。大野城市においては、社会福祉協議会が委託を受けて、その一翼を担っています。障がい者に関しては、合理的配慮を概念とした社会づくり、子どもに関しては、子育てを支援する体制の整備が進められています。共通した生活課題となる貧困に関する支援策も行われています。しかし、ひとりの人が抱える悩みは、重なり合い複雑化していることから、国は今までの高齢者・障がい者・子ども・貧困など縦割りではなく、重層的な体制を整備し、地域住民の生活課題を「丸ごと」解決する仕組みをつくる「重層的支援体制整備事業」を市町村で計画実施するよう推進しています。今まで、各区やコミュニティで市民の方々が主体的に進めてこられた“地域福祉活動”そのものが、システムとして施行されることになると捉えています。ひとりも残さず、すべての人の“ふくしのまちづくり”のために、社会福祉協議会は担当部署にかかわらず、すべての職員が寄せられる市民の困りごとを受け止め、その解決に向けて、行政機関・専門機関・教育関係者・地域関係者・ボランティア団体・福祉団体・社会福祉法人連絡会・障がい者施設団体連絡協議会・NPO法人等関係団体や企業関係者と、今まで以上に連携し「支援する人を支援する」しくみづくりに取り組んでまいります。また、2020年新型コロナウイルス感染症により、“つながり”の重要性が明らかになりました。先人が唱えてきた“向こう三軒両隣”運動の啓発も一層進めて参ります。

◆重点方針◆

- 1) 法人の充実…「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現にあたり、福祉の拠点を担う職員の育成
社協を担う職員＝専門力(プロフェッショナル)+総合力(ジェネラリスト)
- 2) 「支援する人を支援する」・「助ける人を助ける」…さまざまな支援・地域福祉に尽力する皆さんを社会で支援する・助ける仕組みを試行する。
- 3) 東日本大震災より10年の節目にあたり、南相馬市の地域の自治力の再編を復興の軌跡から学ぶ
- 4) 2022年法人化50周年…感謝をキーワードに準備に入る。
- 5) 第3期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画の遂行
 - ・今年度より第3期となる市民活動推進計画が始まります。今回の計画では、10の重点事業のうち、新たに策定されたものが7事業。第2期計画より継続して策定されたものが3事業、第2期計画の事業のうち今年度より通常事業としておこなうものが7事業あります。
 - ・今年度も市福祉課をはじめとする行政と連携しながら第3期計画の事業を進めていきます。
- 6) 社協よろず相談所…市民のみなさんが気軽に立ち寄ることのできる総合福祉センターと何でも相談できる環境を整備する。

◆重点事業◆

以下☆マーク…第3期市民活動推進計画

◇総務企画課◇

《健全な法人運営》

- ・収入と支出をあわせた財政の管理をおこなう。
- ・法令の学習と法令を遵守した法人運営をおこなう。

《業務の効率化》

- ・システムの効率的な活用と機器ネットワークの安全性を図るための整備をおこなう。
- ・リモートによる講座や研修会に対応した設備の整理をおこなう。
- ・福祉バスの福祉活動支援事業、移送支援事業を安全に利用いただくため車両整備を行う。

《総合福祉センター利活用》

- ・総合福祉センター利用者アンケートを反映した市民が安心して使用できる施設を目指し、適切な管理と運営を実施する。

《指定寄附の執行》

- ・指定寄附…「東北応援M基金」での東北応援事業実施を支援する。
「困った④」を助ける人を助ける指定寄附の仕組みにチャレンジする。

◇地 域 課◇

《市民ニーズの調査研究》

☆市民活動計画を進めるにあたり、市民ニーズの調査は必須と思われます。市民が求める地域福祉活動や多種多様化する福祉ニーズにも対応していき、長年おこなわれている番茶の会や地域福祉活動に関するアンケート調査をはじめ、様々なニーズを把握するため調査研究を行う。

《第2層協議体との連携強化》

・昨年、すべてのコミュニティに第2層協議体が設置され、今年度より新しい体制で始まる大野城市での生活支援体制整備事業で、特に第2層協議体とも連携を図り、地域課題の抽出や新たなニーズの発掘を行い、課題解決や新たな取り組みの検討など取り組んでいきます。

《災害時の助け合いの仕組み》

- ・区の避難活動と社会福祉施設の連携を支援する。
- ・市担当部署と災害時の避難者支援を協働する。

《広報事業の拡充“社協を知ってもらう”》

- ・ホームページのリニューアルの効果的な活用

Twitter発信・フォロワーを増やす、公式LINE友だちを増やす

- ・令和2年度から年3回タブロイド版☐年4回に拡充

《未来へつながるボランティア活動》

☆持続可能なボランティアセンター構築のため、現在のボランティアセンター運営委員会に加えてyoungボランティアセンター運営委員会を設置し、近隣の大学ボランティアセンターとの連携を図る。

《マンションとの連携》

☆区と連携し、マンション管理組合等とつながり、出前講座や相談会を開催する。

《働き盛り世代の介護者支援》

☆「介護講座」の夜間休日および開催時間等具体的なニーズ調査をおこなう。

《共同募金》

募金運動の新たな形を試行し研究する。

1. 非対面募金（スマホQRコード決済サービス・『中央共募』定期引き落とし・クレジットカード決済の推進）
2. はねっとシステムの周知で共同募金による活動報告を拡げる。
3. 赤い羽根の共同募金運動による社会づくりを学校における福祉教育で未来をつくる次世代を育成する。

◇権利擁護課◇

《総合相談事業》

☆総合相談事業において各専門機関の最新の情報収集を行い、相談者にスムーズに情報提供できる体制を整える。

《日常生活自立支援事業》

☆生活支援員養成研修を継続的に開催し、支援員の増員をおこなう。

《多機関連携》

・日常自立支援事業から後見制度への移行を行うために、居宅介護支援事業所・障がい者相談支援事業所・包括支援センター・福祉課等との連携強化を行う。

☆他機関との連携のもと死後事務事業の事業化を開始する。

◇介護サービス◇

《働き盛り世代の介護者支援》

☆「介護講座」の夜間休日および開催時間等具体的なニーズ調査に協力する。

《居宅介護支援事業》

・サービスを組み合わせるだけでなく、利用者と家族や友人、地域の方と多職種支援者の「人」と「力」をつないでいく事を第一目標とし支援してする。

《居宅介護サービス事業》

・障がい福祉サービス提供地域を拡大する。

・赤ちゃんから高齢者の方まで、「生きる」ことを支えるための業務であることを認識し、現状の支援技術の専門性を高めるだけでなく、新たな支援技術の専門性を作り出していけるよう業務に挑む。

2021年度 大野城市社会福祉協議会 主な事業・会議予定表

月	日	曜日	事業・行事	事務局会議等
4	2	金		ボランティアセンター運営委員会
	5	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会
	14	水		福祉委員会
	15	木	社協だより（ふくしんぼ185号）タブロイド版発行	
5	未定		ふれあいの旅2021事前説明会	
	未定			決算監査
	未定			正副会長会
	未定			総務委員会
6	7	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会
	9	水		福祉委員会
	12	土	ふれあいの旅2021①	
	13	日	ふれあいの旅2021②	
	19	土	ふれあいの旅2021③	
	20	日	ふれあいの旅2021④	
	未定		Link～子育て支援者つながろう会～	
	未定			理事会・評議員会
7	10	土	職員研修（接遇）	
	未定		区長と社協との懇談会	
	未定		福祉教育基礎研修会	
	未定		コミ心配ごと相談	
8	2	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会
	未定			広報委員会
	未定			共同募金会支会理事会
9	15	火	社協だより（ふくしんぼ186号）タブロイド版発行	
	未定		東北応援の旅	
	未定		赤い羽根共同募金のつどい	
	未定			福祉事業委員会

2021年度 大野城市社会福祉協議会 主な事業・会議予定表

月	日	曜日	事業・行事	事務局会議等
10	1	金	共同募金運動開始（12/31まで）	
	4	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会
	13	水		福祉委員会
11	27	土	ふくしフェスティバル2021設営準備	
	28	日	ふくしフェスティバル2021	
	未定			広報委員会
	未定			上半期監査
12	6	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会
	8	水		福祉委員会
	11	土	職員研修（人権）	
	15	水	社協だより（ふくしんぼ187号）タブロイド版発行	
1	未定			広報委員会
	未定			ボランティアセンター運営委員会
	未定		相談事業懇親会	
2	7	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会
	9	水		福祉委員会
	15	火	社協だより（ふくしんぼ188号）タブロイド版発行	
	未定			福祉事業委員会
3	11	金	おおのじょうボランティアのつどい	
	未定		介護者のつどい	
	未定			総務委員会
	未定			広報委員会
	未定			正副会長会
	未定			理事会・評議員会
	未定			共同募金会支会理事会

※ 毎月第2土曜日は介護サービス定例研修

各種委員等の就任について

職員氏名	機関名・職名・委員名等	依頼元
合原 佳登理	(社)福)まどかび(福)慶和会)評議員	慶和会
"	(社)福)野の花学園評議員	野の花学園
"	悠生会 入所検討委員 苦情処理委員会第三者委員	悠生会
"	民生委員推薦会委員	大野城市
"	大野城市市民総ぐるみ防災訓練実行委員会 委員	大野城市
"	筑紫地区地域自立支援協議会全大会	大野城市・ (筑紫地区地域自立支援協議 会事務局)
"	筑紫地区障がい者差別解消支援地域協議会	大野城市・ (筑紫地区地域自立支援協議 会事務局)
"	厚生省社会保険審議会	厚生労働省
高原 信治	大野城市交通バリアフリー基本構想改正協議会委員	大野城市
橋川 美加	大野城市子ども・若者育成会議 子育て支援部会委員	大野城市
"	大野城市健康食育推進委員会 委員	大野城市
"	大野城市地域包括ケアネットワーク協議会委員	大野城市
馬場 徹	大野城市まどかび(福)事業アドバイザー委員会 委員	まどかび(福)
"	南地区コミュニティ運営協議会 専任委員	南地区コミュニティ 運営協議会

職員氏名	機関名・職名・委員名等	依頼元
山内 友香	大野城市道徳教育推進委員	大野城市
"	南地区包括ケアシステム プロジェクト会議 委員	南地区コミュニティ 運営協議会
"	大野城市空き家対策審議会委員	大野城市
"	大野城市自転車活用推進計画協議会委員	大野城市
"	大野城市国民保護協議会委員	大野城市
"	さわかやがテラス大野城地域運営推進会議委員	大野城市
永田 費大	おおの山城 大文字まつり実行委員	おおの山城 大文字まつり委員会
"	福岡県地域福祉活動職員連絡会	
"	よりどころ東スタッフ	よりどころ東事務局 (悠生会)
"	よりどころ中央スタッフ	よりどころ中央事務局 (悠生会)
"	東地区地域包括ケアシステム実行委員会委員	東地区コミュニティ 運営協議会
"	さわかやがテラス大野城中央運営推進会議委員	東地区コミュニティ 運営協議会
益坂 和	福岡地区地域福祉活動職員連絡会	福岡県地域福祉活動 職員連絡会
井上 修	権利擁護センターばあなかあ福岡 成年後見人	社会福祉士会
福岡 愛砂	筑紫地区難病対策地域協議会	筑紫地区難病対策 事務局
"	大野城市要保護児童対策地域協議会代表者会議委員	大野城市
松田 千草	大野城市健康食育推進委員	大野城市